



KONICA MINOLTA

環境に関するリスク コミュニケーション事例

— 第3回地域環境報告会 —

2005年11月3日

コニカミノルタフोटイメージング(株)
小田原サイト

コニカミノルタ環境方針

私たちコニカミノルタグループは持続可能な発展と利益ある成長を目指し、環境・経済・社会の観点を企業戦略に融合することで、**会社運営のすべての面で人と環境に調和した企業活動を進めます。**

7. 情報公開の推進

私たちは、事業を取り巻く利害関係者に対して情報開示及びリスクコミュニケーションを積極的に行い、説明責任を果たすとともに、社会の共生につとめます。 本方針は社外に対し公開します。

全社目的目標指示書

1. 全社環境目的

情報公開の推進： コニカミノルタの説明責任を果たし、透明性向上を図るために、**情報公開を積極的に進め、リスクコミュニケーションの強化を図る。**

2. 全社環境目標（2005年度）

- ①**地域環境報告書の発行**
- ②**地域環境報告会の開催**

CSRについて

CSR活動

1. 社会貢献活動を含めた企業の社会的責任
2. 欧米からスタートし、信頼性の担保として国際基準(ISO)化の動き
3. Corporate Social Responsibility



コニカミノルタ社会貢献基本方針

:よき企業市民の一員であるという認識のもと、
「新しい価値の創造」活動を通じて、
社会の発展や豊かさの実現に貢献します。

小田原サイトにおけるCSR

【スローガン】

企業の社会的責任を果たし、
地域との共生をはかるために

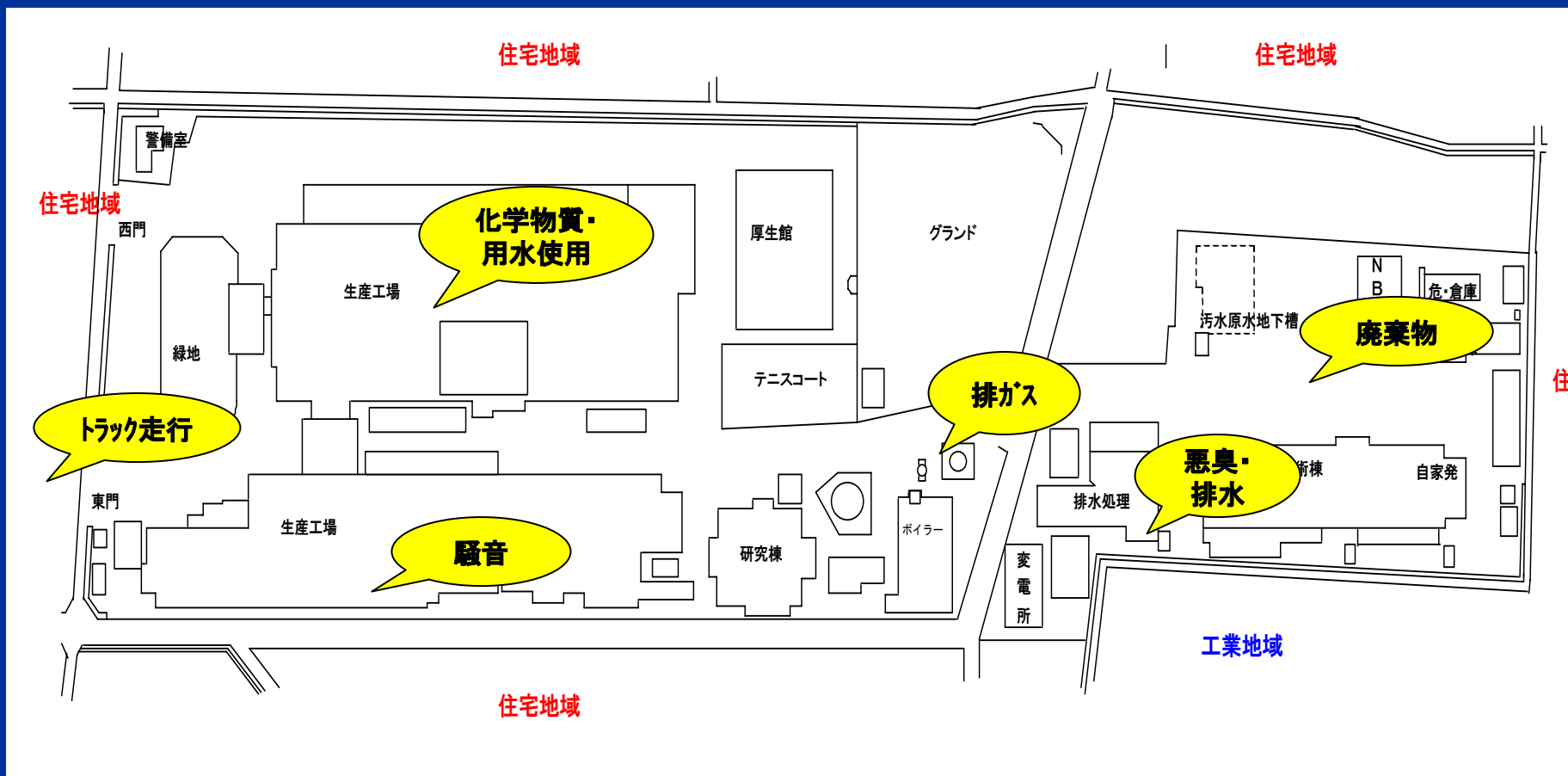


当サイトとしては、営利を追求することだけではなく、地域の皆様方から「信頼」されるサイトになるよう地域環境課題の改善に努めて行きます。

- ①地域環境報告会の実施(情報公開)
- ②従業員全員の法遵守(コンプライアンス)
- ③地域環境活動への参加(クリーンさかわ等)

小田原サイトの活動状況

(1) 立地条件



小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－1

活動分類	実績
①情報提供	<p>地域環境報告書発行(2000年度～) 社外発表(2004年度分)</p> <ul style="list-style-type: none">・エコプロダクツ2004パネル参加 工場見学の受け入れ

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－2

活動分類	実績
②コミュニケーション	<p>地域環境報告会の開催(2003年度～)</p> <ul style="list-style-type: none">・神奈川県HPにも掲載 <p>近隣自治会長との懇談(1998年度～)</p>

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－3

活動分類	実績
③地域社会への貢献活動	<p>協議会への参画</p> <ul style="list-style-type: none">・神奈川県環境保全協議会(理事)・酒匂川水系保全協議会(副会長)・小田原産廃対策協議会(理事)・その他(労働安全衛生、工業・観光、防犯・交通安全、福祉・スポーツ振興等)

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－4

活動分類	実績
④環境マネジメントシステム	<p>ISO－14001 認証取得(1997年)</p> <ul style="list-style-type: none">・環境方針の公開ルール・コミュニケーションルール

地域環境報告会の開催

(1) 開催方針

- ① 一方通行気味であったリスクコミュニケーション活動のレベルアップとして、説明責任を果たすと同時に、自由に話しあえる報告会を企画
- ② 地域環境報告書をプロジェクター及びポスター展示で説明
- ③ 昨年度のご意見、ご要望に対し、調査・検討し、結果をご報告

地域環境報告会の開催

昨年度の地域環境報告会の要望事項例

NO	ご意見	課題名
1	地下水使用量を削減して欲しい	用水使用量の削減
2	昼間は交通弱者も多く危険であるので、夜間のトラック乗り入れを計画して欲しい	夜間のトラック乗り入れ
3	98年11月に焼却炉を撤去した際に近隣の皆様に事前連絡をしていない	工事事前連絡の実施

地域環境報告会の開催

(2) コニカミノルタ統一ポリシー(心がまえ)

1. 近隣住民に、やむを得ずご迷惑をかけていることを自覚。
2. 苦情は、まず相手の話をトコトン聞く。
3. 相手の気持ちを思いやり、コニカミノルタの事情を押しつけない。
4. すぐに回答が出なくても良い。「どうすれば良くなるか、一緒に考えましょう。」の姿勢。
5. 判らないことは、正直に「判らない」と言う。

地域環境報告会の開催

(3) 開催準備

準備時期	準備内容
60日前	地域環境報告書完成・報告会の企画立案 行政、自治会長に事前説明
30日前	案内状配布(近隣住民、行政、企業等) 案内チラシ設置(小田原市役所総合案内所・近隣支所・環境保全課等)
20日前	プロジェクター原稿・想定質問回答完成 リハーサル(ロールプレイング)開始
10日前	プレスリリース
5日前	ポスター・展示物・会場準備(約200m ²)

地域環境報告会の開催

(4) 報告会スケジュール

14:30～受け付け開始

15:15～報告会: 責任者挨拶(10分)

取り組みプロジェクト説明(20分)

質疑応答(40分)

閉会(5分)

16:30～ポスター説明(30分)

展示品紹介(サンプル提供)

地域環境報告会の開催

(5) 説明概要

項目	概要
小田原サイト	①環境管理体制 ②環境負荷
環境データ	①緊急時対応 ②水 ③大気 ④廃棄物 ⑤化学物質(PRTR) ⑥地球温暖化 ⑦土壌汚染 ⑧騒音
指導・要望	①昨年度の報告会要望事項への回答
トピックス	①情報公開 ③社会貢献
終わりに	①連絡先等

地域環境報告会の開催

(6) 参加者(48名)

分類	内訳	人数
参加者	地域住民	15名
	行政関係	4名
	企業関係	29名
社内対応者	サイト内	13名
	サイト外(本社)	5名

地域環境報告会の開催

(7) 主な発言内容

①敷地境界騒音値の低減(継続検討課題)への要望

②壁面緑化の検討へのお願い

③報告会開催要領の検討依頼

地域環境報告会の開催

(8) 報告会風景



地域環境報告会の開催

(9) アンケート結果

・説明時間について

ちょうど良い40名、短い0名

・取り組み内容説明について

良く判った23名、だいたい判った19名、良く判らない0名

・展示について

良い7名、普通33名、不十分1名

・昨年度の要望事項に対して

良い17名、まずまず18名、不十分1名

* 概ね、好評であった。

今後のリスクコミュニケーション

項目	取り組み方針
①地域環境報告会 の継続	<ul style="list-style-type: none">・継続性(毎年開催)・発言への対応(定期的に対応検討会を開催中)・参加し易い開催(祝日の開催)
②地域環境報告会 の発展	<ul style="list-style-type: none">・イベントと共催 例えば・・・お祭り、工場見学等・親しみのある活動を 協議会活動等